

登録コード	SB431200	開講年度	2026					
授業題目	電磁気学I演習				担当教員	天児 寧		
英文授業名	Exercies in Electromagnetism I				副担当			
単位数	1	講義期間	前期(隔週A)	曜日・時限	火曜・2時限		対象学年	2
講義室	理学部第5講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	必修
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ，2 5 Sカリ，2 4 Sカリ，2 3 Sカリ							
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				⇔	・電磁気学Iの基礎的な事項を理解することを目標とする。 ・電磁気学Iの講義で学んだことを用いて，具体的な計算が出来るようになる。 ・電磁気学Iの講義で学んだことを用いて，具体的な問題を解けるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	eALPS上に電磁気学Iの内容の演習問題を出題し，eALPS上に示してある期限までにレポートとして南支援室に提出する。授業が始まるまでにeALPS上の解説ビデオにより解答を確認し、理解を深める。授業では返却されたレポートのチェックと関連した問題の小テストを行う。							
(5)授業のキーワード	物理学の知識，論理的な思考							
(6)授業計画	1. (eALPS上) ガイダンス 2. (火曜日3) 電場 3. (火曜日5) ガウスの法則 4. (火曜日7) 電場と電位 5. (火曜日9) 導体と静電場 6. (火曜日11) 誘電体と静電場 7. (火曜日13) 電場のエネルギー，電流 8. (火曜日15) 静電場の微分形の法則、授業アンケート (具体的な日にはeALPS参照のこと)							
(7)成績評価の方法	毎回提出のレポート10点満点X7回，毎回実施の小テスト10点満点X7回を各50点に換算し，100点満点の評点で成績評価を行う。							
(8)成績評価の基準	毎回提出するレポートを50点，毎回授業最後に行う小テストを50点，合計100点満点の評点で成績評価を行い，秀(S)：90点以上，優(A)：80点以上90点未満，良(B)：70点以上80点未満，可(C)：60点以上70点未満，不可(D)：50点以上60点未満，不可(F)：50点未満，とする。							
(9)事前事後学習の内容	授業の前々週の金曜日までにeALPS上に演習問題を載せるので，期限までに解答をレポートとして南支援室のレポート入れに提出する。授業が始まるまでに、eALPS上の解説ビデオにより解答を確認する。授業では関連した問題の小テストを行うのでそれに備えてよく理解して授業に臨むこと。							
(10)履修上の注意	毎回のレポートは必ず提出すること。また、提出時間をすぎると解説ビデオがアップされるので，提出日時を厳守すること。 小テストはレポート課題が理解されているかを見るものである。人のレポート，本，演習書をただ写すのではなく，理解した上で自分の言葉でレポートを作成すること。変更がある場合があるので、eALPSを確認すること。							
(11)質問,相談への対応	木曜日16時から17時までをオフィスアワーとする。(その他の時間でも可。)							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	指定しない。							